



学校教育目標

〔知〕 進んでできる子・考える子

〔徳〕 心豊かな子

〔体〕 たくましい子



上昇の息吹で新出発！

校長 佐藤 貴広

昨年末、ロサンゼルス・エンゼルスの大谷翔平選手とオリックス・バッファローズの山本由伸選手がともにロサンゼルス・ドジャースへ移籍し、大きな話題となりました。大谷選手が日本国内のすべての小学校にグローブを3つずつ寄贈すると表明したことも驚きでした。

「野球しようぜ」と子供たちに熱いメッセージを送り、競技人口が減少している野球の発展を願ってのことだそうです。ニュースではグローブがすでに届いている地域があるようです。本校に届くのも楽しみです。グローブに込めた大谷選手の思いを感じて、野球に限らず、子供たちが自分自身の夢や目標に向かって、この一年も大きく成長することを期待します。

年末のニュースの中に、小さな記事で、「日本人飛行士 月面着陸へ」（埼玉新聞 2023 年 12 月 25 日付）との報道もありました。アメリカ主導の国際月探査「アルテミス計画」で、2020 年代のうちに日本人宇宙飛行士も月面着陸させる方向で、日米両政府が最終調整しているとのこと。あと6年ぐらいの間に、日本人が月面に降り立つ。地球以外の天体で人が生活する。アニメや映画等の想像の世界が現実のものとなる日もそう遠くないに違いありません。小さな記事の中に、未来の明るい展望を見出すことができました。しかしながら、目を転じれば、社会面には明るい話題よりも災害や事件・事故、戦争などの報道が多く、心が痛みます。だからこそ、学校は、子供たちが夢や希望を持てるよう、励まし続け支える場であらねばならないと強く思います。

今年の干支「辰（竜）」に関する言葉「登竜門」は、竜門の激しい流れを遡ることができた鯉が竜となるという中国の故事が由来です。私たち教職員は、変化の激しい時代に押し流されることなく、上昇の息吹を持って、学校教育に邁進してまいります。保護者、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

元日の石川県能登地方を震源とする令和6年能登半島地震では、北陸地方を中心に甚大な被害が出ています。また、2日には、羽田空港で旅客機と海上保安庁の航空機が衝突し、両機が炎上する事故がありました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々、事故で怪我をされた方々に心よりお見舞い申し上げます。災害はいつ起こるかわかりません。本校は今月、大きな揺れが起きた時に自ら身を守る行動ができるよう避難訓練を行います。ご家庭でも非常時の避難行動等について確認をお願いいたします。